

人間科学部の学生のみなさんへ

人間科学部では、多くの「専門教育科目」を用意しています。これらの科目1つ1つから、様々な専門的知識や技術を習得することができます。さらに、テーマを決めて科目を組み合わせることで「専門教育科目」の学びはより一層豊かなものになります。

「人間科学部の学びの手帳」では、「専門教育科目」の学びについて、23の履修モデルとして提案しています。この手帳を活用し、4年間の履修計画を具体的に描いてみてください。

自分の興味や関心を深めるため、あるいは将来の夢や希望に近づくために、人間科学部で何を学ぶとよいのか、どのような科目を履修すればよいのか、その答えを導いてくれるはずです。

東洋学園大学
人間科学部 教員一同

目次

手帳の使い方	3-4
興味を広げ、深める学び	
1. 人間科学を究める	5
2. 人間の感性に注目する	6
3. 人間を哲学的に考える	7
4. 文学・芸術表現から人間を理解する	8
5. 「差別ってどうして起こるんだろう」を考える	9
6. スポーツ科学を深く学ぶ	10
7. 犯罪・非行について考える	11
8. 児童虐待の問題について考える	12
9. 「共生社会」ってどんな社会？	13
将来に生きる学び	
10. 地域の中で困っている人を支えたい	14
11. 子どもにスポーツを指導したい	15
12. コミュニケーション能力を高めたい	16
13. 友達の相談にのるためのスキルを学びたい	17
14. 子どもの育ちをサポートしたい	18
資格・職業につなげる学び	
15. 平和を学んで国際NGO職員をめざす	19
16. 社会調査に強くなる	20
17. 保育士資格に挑戦したい	21
18. テニス指導員の資格を取りたい	22
19. 心が読めるスポーツトレーナーを目指す	23
20. 児童指導員として児童養護施設で働く	24
21. 障害児(者)施設や高齢者施設で働く	25
22. 心理学の資格をとって就職に活かしたい	26
23. 臨床心理士をめざす	27
自分の履修の計画をたてよう！	28
人間科学部のカリキュラム図(2015年度入学生)	29-30

手帳の使い方

- ① ここには23種類の人間科学部の「専門教育科目」を中心とした履修モデルが掲載されています。あなたが時間割を作成する際、これらの履修モデルを参考にするとよいでしょう。
- ② 履修モデルは、1つだけ選ぶのではなく、自分の興味に合わせて複数のモデルを選んで組み合わせることもできます。
- ③ たとえ1つのモデルを選択しても、そのモデルのすべてのおすすめ科目を取る必要はありません。必要に応じて、他の科目と入れ替え、自分に合ったモデルを作成してください。
- ④ 履修モデルには、学年と科目が組み合わされて記載されていますが、その科目をその学年で取らなければならないわけではありません。2年生は1年生の科目を、3年生は1、2年生の科目を、4年生は全ての 学年の科目を取ることができます（下の学年の科目を履修できます）。
- ⑤ もし、履修モデルの中に気になる資格を見つけたら、資格取得要件についてシラバスで必ず確認をするようにしてください。

この手帳はあなたの4年間の学びをサポートします。
卒業まで大切に手元に置いておきましょう。

専門教育科目について

- ① 卒業には 124 単位以上の科目履修が必要です。そのうち、「専門教育科目」は 78 単位以上履修する必要があります。
- ② 「専門教育科目」は、「専門基礎科目」「専門基幹科目」「専門ゼミ科目」「専門特別講義科目」の4つの群で構成されています。
- ③ 「専門基礎科目」は、必修科目である「人間科学の基礎」「人間科学基礎演習 A・B」を含めて 12 単位以上履修する必要があります。
- ④ 「専門ゼミ科目」は、3、4 年次でそれぞれ 4 単位(計 8 単位)を履修する必要があります。3 年次と 4 年次のゼミは連続ゼミを履修しなければなりません。
- ⑤ 4 年次には、卒業論文 8 単位、または、「専門特別講義科目」8 単位以上を履修する必要があります。
- ⑥ ただし、「基本教育科目」8 単位までを「専門教育科目」の単位に含めることができます。
- ⑦ また、グローバルコミュニケーション学部の「専門教育科目」及び現代経営学部の「専門展開科目」を担当の教員の許可を得て履修することが認められており、24 単位までを人間科学部の「専門教育科目」に読み替えることができます。

1. 人間科学を究める

モデルの説明

人間科学部の魅力は「人間（ひと）」について、さまざまな学問分野から幅広く学べることです。いろいろな教員の科目をバランスよく履修して、多角的な視点を育てよう。

おすすめ科目

1年	心理学概論 基礎心理学 スポーツ1 《教養教育科目》
2年	家族心理学2（家族カウンセリング） ピアカウンセリング 統計学 心理・社会統計学 スポーツ心理学 トレーニング科学 こども学 ヒューマン・サービス論 生涯発達心理学1（人間の一生と発達） 多文化共生論 犯罪学入門
3・4年	認知心理学 精神保健 心理学実験実習 心理検査法 スポーツカウンセリング 身体論 運動・スポーツ指導の実践 レクリエーションの理論と実践 社会福祉原論 共生社会論2（多文化共生への道） 被害者学 臨床心理学特講2（アクション・メソッド） 演劇と表現特講 身体と表現特講 日本文化と心的世界特講 西欧文化の諸相特講 西欧文化と人間特講

2. 人間の感性に注目する

モデルの説明

私たちは人との関係の中で生きています。他者を理解するとは、想像力を働かせてその人の感性に寄り添い、共感をすることです。「他者」は「文化」と置き換えることもできます。大学生のときこそ、人間のそうした側面に注目しましょう。

おすすめ科目

1年	心理学概論 人間学 平和・共生・人間
2年	人間関係論 スポーツ文化 多文化と宗教 ピアカウンセリング 非行心理学 子ども学 対人行動とコミュニケーション 多文化共生論
3・4年	コミュニティ心理学 認知心理学 記憶心理学 組織心理学 職場の心理学 コミュニティ心理学 精神保健 スクールカウンセリング 記憶心理学 ソーシャルワーク 子どもの発達と遊び 身体論 小集団とリーダーシップ 共生社会論 演劇と表現特講 身体と表現特講 広告心理特講 日本文化と心的世界特講 近代の哲学特講 現代の哲学特講 西欧文化の諸相特講 西欧文化と人間特講

3. 人間を哲学的に考える

モデルの説明

人間を哲学的に考えることは2500年前のギリシアで始まりました。その後心理学を含めた諸科学の進歩は目覚ましく、哲学は哲学を考える(!)ということになりました。しかし、諸科学に見落としはしないか確かめる必要があります。人間を哲学的に探ることは今の課題です。

おすすめ科目

1年	人間学 心理学概論 宗教学《教養教育科目》
2年	哲学《教養教育科目》 社会心理学 健康管理学 社会福祉入門 家族社会学 多文化と宗教 カウンセリングの基礎 統計学 家族心理学1(家庭の問題) からだの仕組みと運動 スポーツ心理学 子ども学 多文化共生論
3・4年	心理学研究法 心理学実験演習 心理検査法 臨床心理学演習 認知心理学 記憶心理学 身体論 栄養学 レクリエーションの理論と実践 スポーツ医学 子どもの発達と遊び 児童福祉 精神保健 生涯発達心理学2(発達心理学特論) 教育心理学 家族・子どもと法 近代の哲学特講 現代の哲学特講 西欧文化の諸相特講 西欧文化と人間特講

4. 文学・芸術表現から人間を理解する

モデルの説明

昔から多くの文学やさまざまな芸術で人間は表現されてきました。文学や芸術表現という視点から人間というものへの理解を深めていきましょう。

おすすめ科目

1年	心理学概論 人間学 平和・共生・人間 文学《教養基礎科目》
2年	人間関係論 家族社会学 多文化と宗教 家族心理学1（家庭の問題） 家族心理学2（家族カウンセリング） ピアカウンセリング 多文化共生論 ジェンダー論 子ども学
3・4年	認知心理学 コミュニティ心理学 組織心理学 子どもと家族の健康 子どもの発達と遊び 教育心理学 キャリアカウンセリング 社会福祉原論 社会参画とボランティア 被害者学 家族・子どもと法 演劇と表現特講 身体と表現特講 日本文化と意識表現特講 日本文化と心的世界特講

5. 「差別ってどうして起こるんだろう」を考える

モデルの説明

「差別はいけない」なんて分かっている。でも、共に生きていくことを阻む現実は今もある。差別は、個人の中にも社会の仕組みの中にもつくられる。日本や世界の歴史と現状、人のこころを学ぶことを通して、共生と平和の道を探っていこう。

おすすめ科目

1年	平和・共生・人間 心理学概論
2年	マイノリティ論 多文化共生論 ジェンダー論 多文化と宗教 犯罪学入門 犯罪学応用 家族社会論 社会心理学 ヒューマン・サービス論 対人行動とコミュニケーション
3・4年	共生社会論2（多文化共生への道） 紛争解決論 被害者学 コミュニティ心理学 精神保健 ソーシャルワーク 家族・子どもと法 児童福祉 地域福祉 社会と人間ゼミⅠ-2 社会と人間ゼミⅡ-2

6. スポーツ科学を深く学ぶ

モデルの説明

スポーツ科学に関連する知識を深め、スポーツトレーナーや指導者に関する資格をたくさん取得したいという学生におすすめの科目です。

おすすめ科目

1年	スポーツ1（テニス・バドミントン）《教養基礎科目》※ スポーツ2《教養基礎科目》
2年	スポーツ3（テニス・集中）※ 健康管理学※　スポーツ文化※ からだの仕組みと運動※ 身体運動のメカニズム※　スポーツ心理学※ トレーニング科学※　コーチング論※ スポーツ4（ストレッチング・補強運動）※
3・4年	身体論 運動・スポーツ指導論※　運動・スポーツ指導の実践※ 栄養学※　レクリエーションの理論と実践※ スポーツマネジメント※　スポーツマーケティング※ スポーツカウンセリング※ スポーツ5（ウォーキング・ジョギング）※ スポーツ6（水泳）（夏季集中）※ スポーツ7（エアロビックダンス）※ スポーツ医学（夏季集中）※ 社会体育理論と実践※ 身体と健康ゼミⅠ　身体と健康ゼミⅡ

※「スポーツリーダー」「ジュニアスポーツ指導員」「テニス指導員」「健康運動実践指導者」「スポーツプログラマー」に関連した科目

7. 犯罪・非行について考える

モデルの説明

犯罪・非行はなぜ起こるのだろうか？ 犯罪はどうしたら予防できるのだろうか？ 犯罪者が再び犯罪を犯さないようにするにはどうしたらよいのだろうか？ 犯罪の被害者を支援するために何ができるか？ 犯罪や非行、犯罪の加害者・被害者について、いろいろな角度から考えていきます

おすすめ科目

1年	平和・共生・人間
2年	社会心理学 社会福祉入門 ヒューマン・サービス論 家族社会学 犯罪学入門 犯罪学応用 ジェンダー論 非行心理学 犯罪心理学 マイノリティ論 多文化共生論
3・4年	紛争解決論 家族・子どもと法 児童福祉 社会福祉原論 地域福祉 共生社会論1（若者とキャリア） 共生社会論2（多文化共生への道） 社会調査の設計 フィールドワークの方法と実践 社会調査とフィールドワーク 被害者学 コミュニティ心理学 精神保健 量的データの解析特講 質的データの分析特講 地域共生特講Ⅰ（本郷） 地域共生特講Ⅱ（本郷） 社会と人間ゼミⅠ-1 社会と人間ゼミⅡ-1

8. 児童虐待の問題について考える

モデルの説明

今日、児童相談所への児童虐待の相談件数は年間 6 万件を超えており、児童虐待は大学生にとっても身近な問題である。本モデルでは児童虐待について、社会福祉学、心理学、社会学、そして法学の視点から学び、多角的に理解することを目指す。さあ、自分に何ができるのか考えてみよう！

おすすめ科目

1 年	心理学概論 基礎心理学
2 年	社会福祉入門 家族社会学 カウンセリングの基礎 カウンセリングの応用 臨床心理学の基礎 臨床心理学の実践 家族心理学 1 (家庭の問題) 家族心理学 2 (家族カウンセリング) 子ども学 生涯発達心理学 1 (人間の一生と発達)
3・4 年	コミュニティ心理学 精神保健 子どもと家族の健康 児童福祉 地域福祉 社会福祉原論 ソーシャルワーク

9. 「共生社会」ってどんな社会？

モデルの説明

社会には、いろいろな文化的背景を持った人、さまざまな経験をした人がいます。そうした人々が互いに理解し合い、尊重されることができる社会をどうしたらつくることができるのでしょうか？そうした社会の構築のために、私たちに何ができるか、一緒に考えてみましょう。

おすすめ科目

1年	平和・共生・人間 心理学概論 基礎心理学
2年	多文化共生論 マイノリティ論 多文化と宗教 家族社会学 ジェンダー論 社会心理学 ヒューマン・サービス論 社会福祉入門 対人行動とコミュニケーション 犯罪学入門 犯罪学応用
3・4年	共生社会論1（キャリアと若者） 共生社会論2(多文化共生への道) 紛争解決論 被害者学 家族・子どもと法 コミュニティ心理学 児童福祉 地域福祉 精神保健 社会福祉原論 ソーシャルワーク 社会と人間ゼミⅠ 社会と人間ゼミⅡ

10. 地域の中で困っている人を支えたい

モデルの説明

少子高齢化など日本社会が抱えている諸問題を理解し、地域の中で困っている人をサポートする福祉関連企業や非営利団体等で働きたいと考えている人におすすめの科目です。

おすすめ科目

<p>1年</p>	<p>心理学概論 平和・共生・人間 日本社会の抱える諸問題《教養基礎科目》</p>
<p>2年</p>	<p>社会心理学 ヒューマン・サービス論 社会福祉入門 家族社会学 カウンセリングの基礎 家族心理学1（家庭の問題） ピアカウンセリング 対人行動とコミュニケーション マイノリティ論 多文化共生論</p>
<p>3・4年</p>	<p>コミュニティ心理学 組織心理学 児童福祉 地域福祉 社会福祉原論 ソーシャルワーク 小集団とリーダーシップ 精神保健 家族・子どもと法 共生社会論2（多文化共生への道） 社会貢献とNGO・NPO 社会参画とボランティア 社会調査とフィールドワーク 紛争解決論 消費者の心理特講 広告心理特講 食と健康特講 食と文化特講</p> <p>ヒューマン・サービスゼミⅠ-2 ヒューマン・サービスゼミⅡ-2</p>

11. 子どもにスポーツを指導したい

モデルの説明

ジュニアスポーツ指導員の資格を取得し、子どもたちにスポーツを教える仕事に就きたいと考えている学生におすすめの科目です。

おすすめ科目

1年	スポーツ1（テニス・バドミントン）《教養基礎科目》※ スポーツ2《教養基礎科目》
2年	健康管理学※　スポーツ文化※ 人間関係論　ヒューマン・サービス論 からだの仕組みと運動　身体運動のメカニズム※ スポーツ心理学※　トレーニング科学※ コーチング論※　スポーツ4（ストレッチング・補強運動） 対人行動とコミュニケーション　子ども学 障害児保育概論
3・4年	身体論　運動・スポーツ指導論※ 運動・スポーツ指導の実践　栄養学 レクリエーションの理論と実践※　スポーツマネジメント※ スポーツマーケティング※　スポーツカウンセリング※ スポーツ5（ウォーキング・ジョギング） スポーツ6（水泳）（夏季集中）※ スポーツ7（エアロビックダンス）　スポーツ医学（夏季集中） 社会体育理論と実践※　子どもの発達と遊び 家族・子どもと法　子どもと家族の健康 児童福祉　小集団とリーダーシップ 生涯発達心理学2（発達心理学特論） 身体と健康ゼミⅠ　身体と健康ゼミⅡ

※「スポーツリーダー」「ジュニアスポーツ指導員」に関連した科目

12. コミュニケーション能力を高めたい

モデルの説明

相手の話していることをきちんと理解し、自分の考えを上手に伝え、他者との関係を円滑にするためのコミュニケーション能力を高めるためのモデルです。

おすすめ科目

1年	心理学概論 基礎心理学
2年	社会心理学 人間関係論 ジェンダー論 ピアカウンセリング 生涯発達心理学1（人間の一生と発達） 対人行動とコミュニケーション カウンセリングの基礎 カウンセリングの応用 子ども学
3・4年	職場の心理学 認知心理学 情報処理心理学 子どもの発達と遊び 児童福祉 地域福祉 ソーシャルワーク 小集団とリーダーシップ キャリアカウンセリング 生涯発達心理学2（発達心理学特論） 紛争解決論 被害者学 社会貢献とNGO・NPO 共生社会論1（若者とキャリア） ライフキャリア入門特講 キャリア開発特講 消費者の心理特講 広告心理特講

13. 友達の相談にのるためのスキルを学びたい

モデルの説明

身近な友達や恋人、家族の相談にうまく応えて、問題の解決の手助けをしたい！そんなあなたにおすすめの科目をならべました。

おすすめ科目

1年	心理学概論※ 基礎心理学※
2年	人間関係論※ 臨床心理学の基礎※ 臨床心理学の実践※ ピアカウンセリング※ 社会心理学 カウンセリングの基礎※ カウンセリングの応用※ コーチング論 マイノリティ論 生涯発達心理学1（人間の一生と発達）※ 対人行動とコミュニケーション 非行心理学※
3・4年	心理学研究法※ 心理学実験演習※ 心理検査法※ 臨床心理学演習※ 精神保健 コミュニティ心理学 スポーツカウンセリング 教育心理学※ キャリアカウンセリング 家族・子どもと法 被害者学 生涯発達心理学2（発達心理学特論）※ 職場の心理学 スクールカウンセリング※ 紛争解決論 レクリエーションの理論と実践 臨床心理学特講1（グループ・アプローチ） 臨床心理学特講2（アクション・メソッド） 依存症と家族関係特講 依存症の専門的援助法特講 心理・カウンセリングゼミⅠ-1 or 2 or 4 心理・カウンセリングゼミⅡ-1 or 2 or 4

※「ピア・ヘルパー」「教育カウンセラー補」の資格取得に関連した科目

14. 子どもの育ちをサポートしたい

モデルの説明

子どもが好き。子どもに興味がある。子どもに関わる仕事をしたい。子育て上手な父親・母親になりたい。そんなあなたにお勧め科目です。子ども・家族についての専門的知識を深めましょう。

おすすめ科目

1年	心理学概論
2年	子ども学 保育体験 障害児保育概論 生涯発達心理学1（人間の一生と発達） 家族社会学 家族心理学1（家庭の問題） 人間関係論 社会福祉入門 非行心理学 カウンセリングの基礎 対人行動とコミュニケーション
3・4年	子どもと家族の健康 子どもの発達と遊び 乳児保育 児童福祉 教育心理学 保育理論研究 保育実践研究 生涯発達心理学2（発達心理学特論） 精神保健 レクリエーションの理論と実践 栄養学 共生社会論1（若者とキャリア） 家族・子どもと法 スクールカウンセリング 身体論 運動・スポーツ指導論 運動・スポーツ指導の実践 食と健康特講 依存症と家族関係特講 ヒューマン・サービスゼミⅠ-1 ヒューマン・サービスゼミⅡ-1

15. 平和を学んで国際 NGO 職員をめざす

モデルの説明

争いや飢餓のない世界を望む人はたくさんいます。もしあなたがその1人なら、日本に400以上もある国際 NGO で働いてみませんか。まず自分の住む国で、また遠い国で何が起きているかを学んで、第一歩を踏み出しましょう。

おすすめ科目

1年	社会心理学 平和・共生・人間 政治と経済《教養基礎科目》 国際社会の抱える問題《教養基礎科目》 日本社会の抱える問題《教養基礎科目》
2年	文化人類学《教養基礎科目》 近現代世界史《教養基礎科目》 世界の文化と地域社会《教養基礎科目》 国際関係学《教養基礎科目》 近現代日本史《教養基礎科目》 国際体験演習《教養基礎科目》 多文化共生論 対人行動とコミュニケーション マイノリティ論 ジェンダー論 生活と環境《教養基礎科目》
3・4年	紛争解決論 社会参画とボランティア 社会貢献と NGO・NPO 共生社会論1（若者とキャリア） 共生社会論2（多文化共生への道） 小集団とリーダーシップ フィールドワークの方法と実際 社会調査とフィールドワーク キャリアカウンセリング 地域福祉 コーチング論 コミュニティ心理学 安全保障論《教養基礎科目》 ライフキャリア入門特講 キャリア開発特講 社会と人間ゼミ I-3 社会と人間ゼミ II-3

16. 社会調査に強くなる

モデルの説明

社会で起こっている様々な出来事について、広い観点から調査・分析し、客観的なデータを提示する力を身につけます。このような調査力は就職した後にも役立つ能力です。

おすすめ科目

1年	平和・共生・人間 心理学概論 社会学《教養基礎科目》
2年	社会心理学 人間関係論 ヒューマン・サービス論 社会福祉入門 家族社会学 統計学 心理・社会統計学 多文化共生論 マイノリティ論 ジェンダー論 社会調査の基本 マーケティング入門《現経専門基幹科目》
3・4年	組織心理学 職場の心理学 コミュニティ心理学 地域福祉 ソーシャルワーク 小集団とリーダーシップ 社会調査の設計 紛争解決論 社会参画とボランティア 社会貢献とNGO・NPO 社会調査とフィールドワーク フィールドワークの方法と実際 量的データの解析特講 質的データの分析特講 地域共生特講1 地域共生特講2

17. 保育士資格に挑戦したい

モデルの説明

保育士になりたい。保育士国家資格を取りたい。でも自主学習だけでは不安。これらの科目は、保育士資格試験に挑戦したいあなたの学習を支援します。大学生活を充実した4年間にするため、資格取得に向けて頑張りましょう！

おすすめ科目

1年	心理学概論
2年	子ども学※ 保育体験※ 障害児保育概論※ 生涯発達心理学1（人間の一生と発達）※ 社会福祉入門※ 家族社会学 カウンセリングの基礎
3・4年	保育理論研究※ 保育実践研究※ 子どもの発達と遊び※ 乳児保育※ 児童福祉※ 社会福祉原論※ 精神保健※ 栄養学※ ソーシャルワーク※ 子どもと家族の健康 スクールカウンセリング 教育心理学 演劇と表現特講 身体と表現特講 食と健康特講 ヒューマン・サービスゼミⅠ-1 or 2 ヒューマン・サービスゼミⅡ-1 or 2

※保育士国家試験支援科目

（ただし、これらの科目の受講で保育士国家資格が取得できるわけではないことに注意）

18. テニス指導員の資格を取りたい

モデルの説明

テニス指導員（日本体育協会認定）の資格を取得し、卒業後テニスの指導員やフィットネスクラブに就職したいと考えている学生におすすめ科目です。

おすすめ科目

1年	スポーツ1《教養基礎科目》 スポーツ2《教養基礎科目》
2年	スポーツ3（テニス集中）《教養基礎科目》※ 健康管理学※　スポーツ文化※ ヒューマン・サービス論　テニスの基礎理論※ からだの仕組みと運動　身体運動のメカニズム スポーツ心理学※　トレーニング科学※　コーチング論※ スポーツ4（ストレッチング・補強運動） 対人行動とコミュニケーション　子ども学　統計学
3・4年	身体論　運動・スポーツ指導論※　運動・スポーツ指導の実践 栄養学　レクリエーションの理論と実践 スポーツマネジメント※　スポーツマーケティング※ スポーツカウンセリング※ スポーツ5（ウォーキング・ジョギング） スポーツ6（水泳）（夏季集中） スポーツ7（エアロビックダンス） スポーツ医学（夏季集中）※　社会体育理論と実践 子どもの発達と遊び 身体と健康ゼミⅠ　身体と健康ゼミⅡ

※「スポーツリーダー」「公認テニス指導員」に関連した科目

19. 心が読めるスポーツトレーナーを目指す

モデルの説明

スポーツトレーナーに必要な健康運動実践指導者の資格を取得し、心理学の知識も身に付け、将来フィットネスクラブやスポーツに関連した企業に就職したいと考えている学生におすすめの科目です。

おすすめ科目

1年	心理学概論 基礎心理学 スポーツ1《教養基礎科目》 スポーツ2《教養基礎科目》
2年	スポーツ3（ゴルフ・集中）《教養基礎科目》 健康管理学※ スポーツ文化 ヒューマン・サービス論 社会心理学 臨床心理学の基礎 臨床心理学の実践 からだの仕組みと運動※ 身体運動のメカニズム※ スポーツ心理学※ トレーニング科学※ コーチング論 スポーツ4（ストレッチング・補強運動）※ カウンセリングの基礎 カウンセリングの応用 ピアカウンセリング 対人行動とコミュニケーション 生涯発達心理学1（人間の一生と発達）
3・4年	運動・スポーツ指導論※ 運動・スポーツ指導の実践※ 栄養学※ レクリエーションの理論と実践 スポーツカウンセリング スポーツマネジメント スポーツマーケティング スポーツ5（ウォーキング・ジョギング）※ スポーツ6（水泳）（夏季集中）※ スポーツ7（エアロビックダンス）※ スポーツ医学（夏季集中）※ 社会体育理論と実践 教育心理学 心理学研究法 心理学実験演習 認知心理学 生理心理学 組織心理学 身体と健康ゼミⅠ 身体と健康ゼミⅡ

※「健康運動実践指導者」に関連した科目

20. 児童指導員として児童養護施設で働く

モデルの説明

児童指導員や社会福祉主事（※どちらも本学部を卒業後に児童福祉施設などに就職して効力が発揮される任用資格）を取得して、さまざまな理由で親と生活できない子どもたちが暮らす児童養護施設のケアワーカーとして働く。

おすすめ科目

1年	心理学概論※ 基礎心理学
2年	社会心理学 人間関係論 臨床心理学の基礎 臨床心理学の実践 健康管理学 ヒューマン・サービス論 社会福祉入門 カウンセリングの基礎 カウンセリングの応用 生涯発達心理学1（人間の一生と発達） 対人行動とコミュニケーション こども学 身体運動のメカニズム
3・4年	心理学研究法 心理学実験演習 心理検査法 臨床心理学演習 認知心理学 記憶心理学 教育心理学 精神保健※ 栄養学※ 児童福祉※ 地域福祉※ 家族・子どもと法 社会福祉原論※ ソーシャルワーク※ レクリエーションの理論と実践 臨床心理学特講1（グループ・アプローチ） 臨床心理学特講2（アクション・メソッド） 演劇と表現特講 身体と表現特講 食と健康特講 食と文化特講

※「社会福祉主事」に関連した科目

21. 障害児(者)施設や高齢者施設で働く

モデルの説明

児童指導員や社会福祉主事（※どちらも本学部を卒業後に施設に就職して効力が発揮される任用資格）を取得して、当該施設で児童指導員や支援員として働く。

おすすめ科目

1年	心理学概論※ 基礎心理学
2年	社会心理学 人間関係論 臨床心理学の基礎 臨床心理学の実践 健康管理学 ヒューマン・サービス論 社会福祉入門 カウンセリングの基礎 カウンセリングの応用 生涯発達心理学1（人間の一生と発達） 障害児保育概論 対人行動とコミュニケーション 子ども学 身体運動のメカニズム
3・4年	心理学研究法 心理学実験演習 心理検査法 臨床心理学演習 認知心理学 記憶心理学 教育心理学 精神保健※ 栄養学※ 児童福祉※ 地域福祉※ 社会福祉原論※ ソーシャルワーク※ 家族・子どもと法 レクリエーションの理論と実践 臨床心理学特講1（グループ・アプローチ） 臨床心理学特講2（アクション・メソッド） 演劇と表現特講 身体と表現特講 食と健康特講 食と文化特講 地域共生特講1（本郷キャンパス） 地域共生特講2（本郷キャンパス）

※「社会福祉主事」に関連した科目

22. 心理学の資格をとって就職に活かしたい

モデルの説明

資格を取りながら心理学の重要な知識を身につけましょう。挑戦することで夢が叶います。ひとつずつ実感して下さい。

おすすめ科目

1年	人間学 平和・共生・人間 心理学概論※ 基礎心理学※
2年	社会心理学※ 人間関係論※ 臨床心理学の基礎※ 臨床心理学の実践※ カウンセリングの基礎※ カウンセリングの応用※ 統計学※ 心理・社会統計学※ ピアカウンセリング※ 対人行動とコミュニケーション※ 生涯発達心理学1（人間の一生と発達）※
3・4年	心理学研究法※ 心理学実験演習※ 心理検査法※ 臨床心理学演習※ 認知心理学※ 記憶心理学※ 組織心理学 職場の心理学 生理心理学 精神保健 スクールカウンセリング※ 社会福祉原論 小集団とリーダーシップ※ 教育心理学※ キャリアカウンセリング 依存症と家族関係特講 依存症の専門的援助法特講 ライフキャリア入門特講 キャリア開発特講 心理・カウンセリングゼミⅠ-3 心理・カウンセリングゼミⅡ-3

※「認定心理士」「ピア・ヘルパー」「教育カウンセラー補」に関連した科目

23. 臨床心理士をめざす

モデルの説明

臨床心理士を目指す人は、まず心理学と臨床心理学系の科目を優先して履修しましょう。2年次の臨床心理学研究1と2は臨床心理士を目指す人のための指導と受験英語を学ぶ科目です。3年から入るゼミは臨床心理士の教員が担当する心理・カウンセリングゼミ1か2か4を選んで指導を受けてください。

おすすめ科目

1年	心理学概論※ 基礎心理学※
2年	社会心理学※ 臨床心理学の基礎※ 臨床心理学の実践※ カウンセリングの基礎※ カウンセリングの応用※ 家族心理学1（家庭の問題） 家族心理学2（家族カウンセリング） 臨床心理学研究1（基礎） 臨床心理学研究2（応用） 非行心理学 犯罪心理学 生涯発達心理学※ 対人行動とコミュニケーション※ ピアカウンセリング※ 心理・社会統計学※
3・4年	心理学研究法※ 心理学実験演習※ 心理検査法※ 臨床心理学演習※ 認知心理学※ 記憶心理学※ 生理心理学 教育心理学※ 精神保健 スクールカウンセリング※ コミュニティ心理学 組織心理学 職場の心理学 小集団とリーダーシップ※ 臨床心理学特講1（グループ・アプローチ） 臨床心理学特講2（アクション・メソッド） 依存症と家族関係特講 依存症の専門的援助法特講 ロールシャッハ検査の基礎特講 ロールシャッハ検査の解釈特講 心理・カウンセリングゼミⅠ-1 or 2 or 4 心理・カウンセリングゼミⅡ-1 or 2 or 4

※「認定心理士」「ピア・ヘルパー」「教育カウンセラー補」に関連した科目

自分の履修の計画をたてよう！

1年	
2年	
3・4年	